

# ダンボールくん アノテーションツール仕様書

## 1. インストール・セットアップ

### (1) Github からコードをクローン

```
git clone https://github.com/JinSakuma/CoordinatesAnnotation.git
```

または以下のリンクから Zip でダウンロード

<https://github.com/JinSakuma/CoordinatesAnnotation>

### (2) 必要なライブラリをインポート

CoordinatesAnnotation/ 直下で以下のコマンドを実行

```
pip install -r requirements.txt
```

## 2. 使い方

### (1) 画像をセット

左上「Open Dir ボタン」または「Open File ボタン」から画像のフォルダまたは画像ファイルを選択。

#### ※注意

ファイルを複数回「Open File ボタン」で選んで一つの json で出力することができないので基本的には「Open Folder ボタン」で作業する画像をまとめて選択する

### (2) 結果の出力先を選択

左の「Selent Save Dir ボタン」で出力先のフォルダを選択

### (3) アノテーション

画像上でマウスをクリックした位置に丸がプロットされ、その座標が記録される。

以下の図 1 の通りの順番に頂点の位置をアノテーションする。

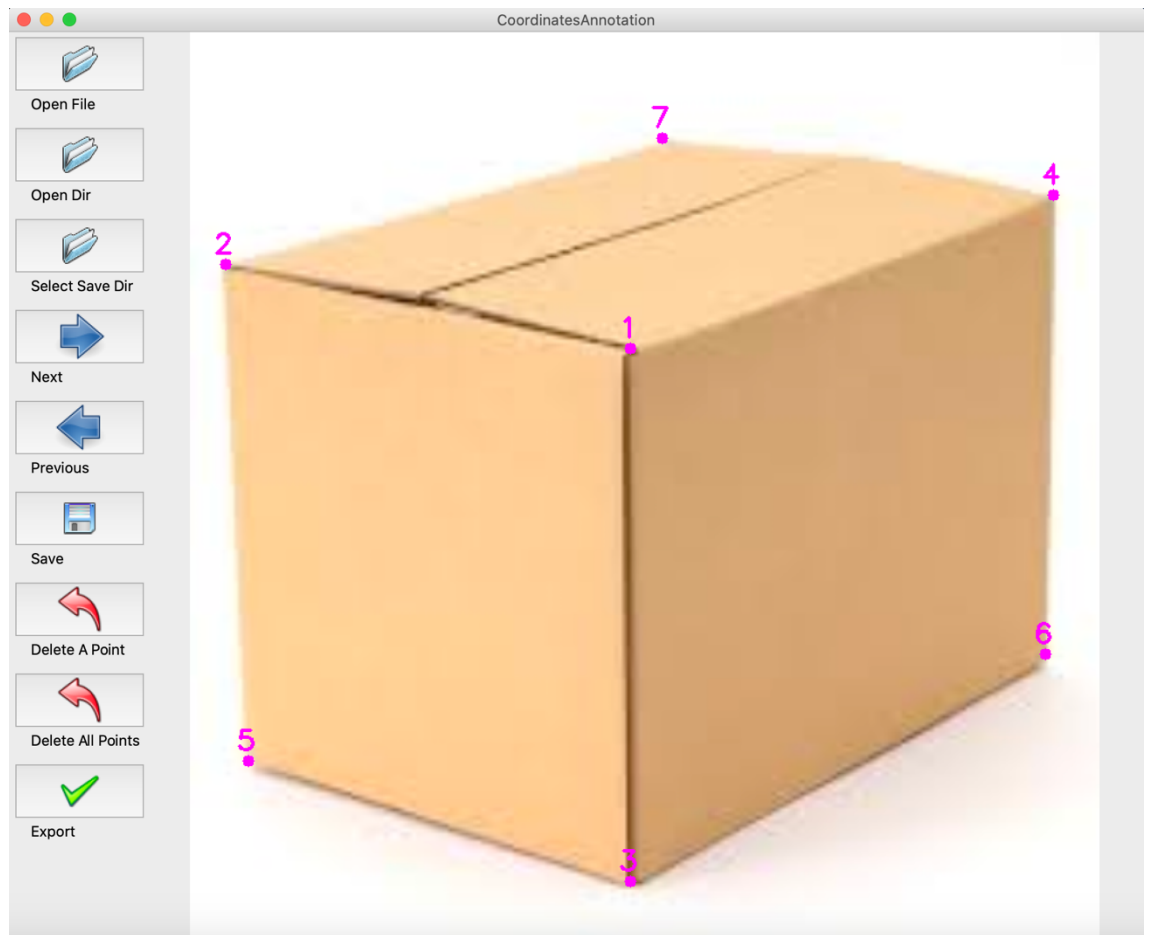


図 1 アノテーションの順番

アノテーションを間違えてしまい、やり直す場合は「Delete A Point ボタン」を使う。「Delete All Points ボタン」を使うとその画像上のプロット全てをリセットできる。

#### (4) アノテーション結果の保存

7 頂点全てに正しくアノテーションできた場合は「Save ボタン」でアノテーションを保存する。この時点では結果はアノテーションツール内で一時保存されているだけで、まだ出力されない。

#### ※注意

一度保存されている場合は、もう一度保存する時に上書き保存するかどうか警告が出る。上書き保存する場合は Yes を選ぶ。

#### (5) 次の画像へ

次の画像へ移る場合は「Next ボタン」を使う。現在の画像のアノテーションが保存されていない場合は警告が出る。

※注意

一度アノテーションを保存し、2 度目のアノテーションを上書き保存し忘れている場合は警告がでないので注意

(6) 前の画像へ

基本的に保存してから次の画像へ移るため使用することはないが、「Previous ボタン」で前の画像へ戻ることができる。

(7) 結果の出力

選んだ出力先のフォルダに JSON 形式で結果を出力する。

JSON ファイル名は,"<選んだ画像フォルダ(ファイル)名>\_results.json"となる。

3. その他